

保 育 課 程

てんじん保育園

保育理念 (事業運営方針)		すべての人(子ども・保護者・地域・職員)の笑顔のために！								
保育方針		子ども達の持っている可能性を『種』として捉え、その種から一つでも多くの芽が出て育つよう、子どもが豊かに学べる保育環境を築きます			保育目標		目指す子ども像 ①自分で考えて行動する子ども ②自分から主体的に生活する子ども ③豊かな感性を持った心優しい子ども ④社会のルールがわかり守れる子ども ⑤自然との出会いを大切に、自然から学べる子ども			
☆発達過程とクラスの相関性 2学年毎にクラスを構成して園生活を送るが、保育指針の示す8つの発達段階を前提に年間指導計画が作成される。 また、子ども一人ひとりの成長段階を踏まえ、養護と教育が一体となり保育は展開される。		☆基本的社会的責任 適切な法人施設運営、運営情報の公開、人権尊重(児童福祉法)、地域との交流(行事への参加呼び掛け)、保育の説明責任(おたよりの配布)、個人情報保護(プライバシーポリシー)、苦情処理解決(第三者委員設置)、第三者事業評価と利用者評価(情報公開)、育児・子育て情報の提供			☆地域の実態に対応した事業 駅からも近く都内に通勤するサラリーマン世帯が多く居住する地域であり、近年、マンションや宅地開発が進んで新しい住人が流入し人口が急増している地域である。核家族世帯が多く育児や子育てに悩む母親も少なくない。希望に応じ延長保育・長時間保育の需要に応えるとともに、地域の子育て支援センターとしての役割にも担っていく。			☆保育時間 平常保育：午前7時00分～午後6時00分 延長保育：午後6時00分～午後7時00分 (1時間延長) ☆主な行事 ・誕生会、・定期健康診断、・クラス懇談会、 ・親子遠足、・歯科検診、・じゃが芋掘り、 ・園児引取訓練、・さつま芋掘り、・プレーデー、 ・クリスマス会、・お餅つき、・節分豆まき、 ・ひなまつり会、・卒園式		
子どもの保育目標		0歳児	個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う。		2歳児	友達と遊ぶ中で自分のしたい事や気持ちを言葉で表現する。		4歳児	保育者や友達と一緒に遊びながら、つながりを広げ集団としての行動ができるようになる。	
		1歳児	安心できる保育者との関係の下で、自分ですようとす気持ちが芽生える。		3歳児	友達と遊ぶ中でジブのしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する。		5歳児	生活や遊びの中で、一つの目標に向かい力を合わせて活動し、達成感や充実感をみんなで味わう。	
保育の内容										
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児			
養護	生命の保持	◎保育士との信頼関係が深まり、基本的信頼感が芽生えるように接する。 ◎一人ひとりの生活リズムが整うよう配慮する。	◎保育士との信頼関係がさらに深まり、愛着関係が育まれるように接する。 ◎生活や遊びの中で自我が育つような関わりを持つ。	◎基本的な生活習慣が自立するように援助する。 ◎運動機能が高まるよういろいろと働き掛ける。	◎基本的な生活習慣を身につけられるように援助する。 ◎運動機能が高まるように様々な動きを体験する。	◎自ら体調の変化に気づく。 ◎運動量が増し、活発に活動できるようになる。	◎健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする。			
	情緒の安定	◎発達過程などを的確に把握し、応答的なふれあいや言葉かけをおこなう。	◎スキンシップにより、保育士とのかわりの心地よさや安心感を得るように接する。	◎子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく。	◎主体的な活動を促す環境を構成し、探索意欲が高まるようにする。	◎多様な経験を通し自己肯定感を育み、自信や保育士への信頼を獲得できるようにする。	◎生活リズムに応じた活動内容の調和を図り、休息がとれるようにする。			
教育	健康	◎清潔になることの心地良さを感じる。	◎援助してもらいながら、身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちを育てる。	◎生活の中で援助してもらいながら自分でできた事に喜びを感じる。	◎身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でしようとする。	◎自分の身体に興味を持ち、異常を感じたら自分から保育士等に知らせる。	◎室内外の危険な物や場所・危険な行動を知り、気を付けて活動する。			
	人間関係	◎保育士との関わりにより、信頼関係が築かれる。	◎保育士や友だちに興味や関心を持ち、真似をしたりして自ら関わろうとする。	◎生活や遊びの中で順番を待つなどの「きまり」があることを知る。	◎生活や遊びの中で「きまり」がある事を知り、友だちと簡単なルールのある遊びが楽しめるようになる。	◎友だちと一緒に使う用具で楽しく遊ぶ経験をしたり大切に扱うことを知る。	◎遊びや行事を通して友だちを応援したり、力を合わせる事の大切さを知る。			
	環境	◎安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする。	◎好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。	◎自然と触れ合う中で好奇心や探究心が生まれてくる。	◎身近な動植物に親しみを持ち、世話をすることで生命の尊さに気づく。	◎身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。	◎生活や遊びの中で簡単な標識や文字などに興味や関心を持つ。			
	言葉	◎語りかけられることにより、声を出したり応えようとする。	◎話しかけややり取りの中で声や言葉で自分の気持ちを表そうとする。	◎生活や遊びの中で、保育士や友だちとの言葉のやり取りを楽しむ。	◎友達の話を聞いたり保育士に質問したり、興味を持った言葉によるイメージを楽しむ。	◎保育士や友だちとの会話を楽しみ、相手に伝わるように話す工夫をする。	◎人の話を聞いたり、身近な文字に触れたりして、ことばへの興味を広げる。			
	表現	◎土や水などの素材に触れ、全身で感触を楽しみ感性を育む。	◎保育士と一緒に歌ったり手遊びしたり、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。	◎保育士や友だちと遊ぶ中で、自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。	◎いろいろな素材や用具に親しみ、友達と工夫して遊ぶ。	◎音楽に親しみ友だちと歌ったり合奏したりして、一つのものを作り上げる楽しさを味わう。	◎自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりした遊ぶ楽しさを味わう。			
食育	食を営む力の基礎	◎食べることに意欲を持つ。	◎食材に興味を持つ。	◎意欲的に食べるようになる。	◎食べることの楽しさを知る。	◎食べることを通して全ての命の大切さを知る。	◎三食表に興味を持ちながら、バランスの良い食事を知る。			
健康支援					研修計画		・新保育所保育指針に対応した園内研修の計画実施 ・園外研修への計画的な参加 ・職員基本研修(上級救命講習、おもちゃインストラクター講習など)の実施			
環境・衛生管理					特色ある保育		定員が60名という小規模保育園の特徴を活かし、家庭的で細やかな保育を行なうとともに、生活や行事を全て乳幼児の発達やペース、生活リズムに合わせて行ないます。			
安全対策事故防止					町への行事参加		・小平灯りまつり、 ・小平市民まつり、 ・消防出初式、			
保護者・地域への支援					自己評価		・保育の評価(全体の反省による保育家庭の反映)、 ・東京都福祉サービス第三者評価の受審、 ・利用者アンケートの実施による結果分析と反映、			